

年神さん

年神さんは正月を迎える神さんで、歳徳さん、正月さんとも呼ばれています。迎える年の作物の豊作と、その年にわざわいがなく、1年の運が順調であるようにと祈ります。そのようなことから年神さんは、農業の神とか、先祖の神であるとも考えられています。
豊成のあるお宅で、写真のような年神さんの掛け絵を拝見しました。丁寧に模写されたものです。かつて大山町で同じものと出会いました。それには鳥根県八束郡鹿島町の佐伏神社の社印と、絵の左側に、「大来目命孫権神主綱保謹而書」とありました。安政(1854)~1859)年間の頃に佐伏神社の権神主であった宇藤綱保氏の作で、版木によって広く頒布されたことが、佐伏神社で分かりました。私が興味を持ったのは、絵の神



年神さんの掛け絵

像とよく似たサイノ神があることでした。絵に描かれている伊弉諾尊と伊弉冊尊は夫婦神で、大八洲(日本の国土)を造られ、多くの神々をお生みになり、山海を支配され、草木を育てられました。
年神さんは大晦日の夕方に来臨されるので、この神を迎えて祭るのが正月の行事です。年神さんを祭るのに、かつて農家では初俵を2俵並べ、その上に新ムシロを敷き、掛け絵・シメ・扇子・餅・昆布などで飾りました。祭る場所はオモチ(床の間・客間)、またはヘヤ(納戸・若夫婦の寝所)でした。豊成のお宅では、ヘヤの一角に年神さんの棚が設けてありました。
12月13日をコト始め、正月始めとも言い、この頃から、一年中でいちばん忙しい日が始まりました。煤払い・松迎え・シメづくり・餅つき・歳暮・掛け払いなど、まさに師走です。子どもたちは、手伝いをしながら指折り数えて、楽しい正月を待ったものです。

もついくつ寝ると お正月
お正月には 凧あげて
独楽を回して 遊びましょ
早くこいこい お正月

(名和町歴史研究会 高島 信平)

発掘現場から

31

〜8千年前のお墓〜

鳥取県教育文化財団埋蔵文化財センター 名和調査事務所

先回、門前第2遺跡などから出土した鎌倉から南北朝時代(約600年から700年前)の焼き物についてご紹介しましたが、今回はそれよりはるかにさかのぼった縄文時代初期頃(早期)の遺構についてです。
この門前第2遺跡は台地上にあります。そこには谷状に窪んだところがあり、台地の平坦部から窪地へかけて、大小の石を組んだような遺構(集石)が十数基見つかりました。またこの集石の間には、ギザギザの模様(山形文)を表面につけた土器が見つかり、その特徴から、今から約8千年前のものであることが分かりました。

このような土器は県内でもいくつも見つかっていますが、特に大山の麓に多く分布しています。ただ今回のように集石がまとまって見つかった例は、中国地方でも米子市上福万遺跡を除いては見つかっておらず、非常に貴重な発見となりました。

これらの集石に使われる石は、人の頭よりも大きなものから拳ほどまであり、その数や範囲なども様々です。また、やや窪んだところに置かれていたり、この下から六(土坑)



集石の検出状況。右端の部分からは、縄文時代早期(約8,000年前)の土器がまとまって出土しました

が見つかったりしています。さて、この集石はいったい何であるかはよくわかっていません。ただ、いろいろな事例を考えると、おそらくはお墓であった可能性が高いと思われます。そして集石の大小は、大人と子供のものであることを表わしているのかもしれない。

私の傑作コーナー

曙短歌会

*印は新仮名

裏庭の香りただよう金木せい抹茶の席に華そへくれる 遠藤 定子
* 裸木の末にとどまる水滴の絶え間もあらずきらめく 空に 金田美彌子
木犀の咲きほこりたるこの日和手折り呉れにし祖母の頭ち来ぬ 塩谷 峯子
台風ひれふす稲を刈りをれば蝶はひらひら鎌に舞い来ぬ 角 公邦
西日背にゆらゆらゆるゆるる音が影を追いつつ歩む今来た道を 角田 文字
* 図書室に借り来る本の偏りぬ「人生百年」「老いの周辺」 寺井 悦子
秋の日に黍の干さるる広い道一直線に山につつけり 戸野 愛子
* 母と子の晴れ着や草履干す庭に金木犀の香の漂よえり 野口 律子
唐さびの葉筋ばかりが残される台風のとに台風が来て 森本 怜子

笹鳴句会

石路の花潮騒きこゆ佛道 逢坂 常盤
石路の花土蔵の残る屋敷跡 國谷 麗子
晩学のパソコン入力冬に入る 角田 久子
ほの暗き海岸通り石路の花 砂口芙二子
表彰状受ける手震ふ秋日和 ゴ 津村 春水
めづらしき稲架の立ちいる峽の径 宮川 節子
岬径肩にふれたる秋夕日 橋本 昭子
鶏頭に種こぼす音ありにけり 美柑みつはる

みふね句会

虫喰いの白菜でよし夫と居て 秋山多喜子
木の葉髪戦に駆けし日の遠く 来海 忠満
舟人となりて滴江の秋をゆく 国谷 耕川
秋日射す楡の工房藍深し 高島 光代
銀杏散る雨の石佛大日寺 津村 春水
歛胼のささくれ指や木の葉髪 中川 幸宗
大山の裾にどんぐり村ありし 榎田 福女
晩秋や花回廊孫の婚 松井 愛子
茶の花と過ぎたる歩み戻しけり 美柑みつはる